

130123 樹氷

冬になると、「樹氷」や「霧氷」という言葉をよく聞くのですが、その違いを明確に説明できる方は少ないのではないのでしょうか？

樹木に雪が降り積もったものが「樹氷」、寒い朝に霧が樹木に付着して成長したものが「霧氷」だと思っていたのですが、調べてみると、どうやらそれは正しい説明ではないようです...

地表付近の気温が氷点下になったとき、**過冷却の水滴**（氷点下になっても液体のままの水滴）や水蒸気が、強風によって樹木などにぶつかった衝撃で凍結・付着した氷層のことを「霧氷」と呼ぶのだそうです。

そして、その「霧氷」は、氷層のでき方によって「樹氷」と「樹霜」、「粗氷」の3種に分けられる、ということですが、一般的には、氷層を付着させた樹木のことを「樹氷」と呼んでいることが多いようです。

別添の写真は先週末に、金剛山頂付近の「ダイヤモンドトレール」で撮影したものです。

この日の金剛山頂付近の積雪は... 何と 50 cm !







